

鳥取のアートをもっと身近に! もっと楽しく!



アルテ

鳥取県文化振興財団 情報誌 vol.315

2021.SUMMER

特集

パガニーニ・クアルテット

“四位一体”の ストラディヴァリウス

ピックアップ 公演のみどころ

NHK交響楽団演奏会 鳥取公演

次世代育成事業トライアート レクチャー・シリーズ

鳥取の未来のために

とっとり地域創造ステージ

FOCUS ON

バレエスタジオ パ・ドルチェ



ストラディヴァリウス「パガニーニ・クアルテット」
(日本音楽財団保有)



©Rikimaru Hotta

加納 民夫

公益財団法人 日本音楽財団
常務理事

東京藝術大学を卒業してNHKに入局、テレビ・ラジオの洋楽番組を演出、その後NHK交響楽団で演奏企画を策定してきた。現在は、日本音楽財団でヴァイオリンの名器ストラディヴァリウスの貸与事業に携わっている。

ストラディヴァリウス 1680年製 ヴァイオリン「パガニーニ」



「四位一体」の ストラディヴァリウス

ストラディヴァリウス 1727年製 ヴァイオリン「パガニーニ」



Stradivarius "Paganini Quartet"

パガニーニ・クアルテット

ストラディヴァリウス 1731年製 ヴァイオリン「パガニーニ」



1830年頃、悪魔的な演奏技術で一世を風靡したヴァイオリニストのパガニーニは、仲間と四重奏曲を弾くため4挺のストラディヴァリウスを手に入れた。この瞬間から4挺は1つとなり、紡ぎ出す特別な音色で、今もなお世界中の演奏家と聴衆を虜にしている。

ストラディヴァリウス 1736年製 チェロ「パガニーニ」



世界に6セットのみ

17世紀後半〜18世紀にかけて活躍したイタリアの弦楽器製作者アントニオ・ストラディヴァリ(1644〜1737)は、2人の子と共に、生涯に約1100挺の弦楽器を作った。その楽器こそ、世界中の演奏家やコレクターが憧れてやまない「ストラディヴァリウス」(以下、ストラド)。約600挺が現存する。美しく深い音色と美術的・歴史的な価値から億単位の値が付けられているのは、誰もが知るところだろう。

実はそのストラドに、2挺のヴァイオリン、ヴィオラ、チェロと4挺が1セットになった「クアルテットセット」が存在することは、あまり知られてい

全て同じ製作者だからこそその調和

ない。残っているのは世界中に6セットのみとされている。そのうちの1つが、公益財団法人日本音楽財団保有の「パガニーニ・クアルテット」だ。

パガニーニが選んだ4挺

同クアルテットは、19世紀に活躍したカリスマ的演奏家である作曲家のニコロ・パガニーニ(1782〜1840)が持っていたことから、この愛称が付いた。同財団常務理事の加納民夫氏は、「ストラドは製作年代によって形状と音色に微妙な違いがある。パガニーニが異なる年代から4挺を選ん

だことは大変興味深い」と名器のルーツを語る。

パガニーニ没後この4挺は、別々に買い取られて散逸するが、1940年代にニューヨークの楽器商が集め直し、再びクアルテットセットとしてよみがえる。それを購入した資産家夫人が64年、演奏家に貸与することを条件にワシントン

のコーラン美術館へ寄贈。94年に日本音楽財団が購入した後も夫人の意思を受け継ぎ、国籍を問わず演奏レベルの高い弦楽四重奏団に無償で貸与しているという。

魅力は鳥肌ものの響き

さてパガニーニ・クアルテットは、一体どんな音を奏でるのだろうか。日本音楽財団が最初に貸与した「東京クアルテット」のヴァイオラ奏者・磯村和英氏は、2013年開催のコンサートプログラムに、あふれる魅力を表した文章を寄せた。



©Eric Devillet

ゴルトムント・クアルテット

2010年結成。数々の国際音楽コンクールで入賞、新進気鋭の若手弦楽四重奏団としてヨーロッパで注目を集めている。19年9月よりパガニーニ・クアルテットを貸与される。今年9月に開催の「ストラディヴァリウス・コンサート2021」が彼らの日本デビュー公演となる。

公演情報は裏表紙をチェック!

音に乗せた歴史と思い

「クアルテット全員がストラディヴァリウスで演奏するというのは、大変充実した素晴らしい体験でした。フォルテは音が抜けるように浸透するので、競い合うようになり立てる必要はなく、ピアノ、ピアノニッシモはかなり小さく弾いても、演奏会場で音が消え入ってしまう心配がないのです。音色又は音の表情に關しては、楽器の反応が非常に鋭敏なので、繊細かつ変化に富んだ表現が出来ます。(後略)」。パガニーニ・クアルテットの真価が伝わってくる言葉に、「聴きたい」という思いが抑えられない。

この音色を鳥取で聴けるチャンスがある。現在このセットを貸与されているドイツの若手四重奏楽団「ゴルトムント・クアルテット」が今年9月に初来日、コンサートが開催される。4人は学生時代からの友人同士で、艶めきのある音色、息の合ったアンサンブルが評判だ。彼らの高い音楽性と情熱、約300年にわたる楽器が紡いできた音の深み、携わってきた皆さんの人々の思い。その全てが重なり合っ

て生まれる響きを耳にする観客は、「歴史の証人」といえるのかもしれない。

観る楽しみ広がるレクチャー開始！

Information

開催日 | 2021年7月8日(木)
 会場 | 米子市文化ホール イベントホール
 時間 | 18:30~20:00
 料金 | 全席自由(税込)
 一般 1,000円 U18 無料(※要入場券)
 一般発売 | 好評発売中
 主催 | (公財)鳥取県文化振興財団
 お問い合わせ | とりぎん文化会館
 TEL.0857-21-8700



中村雅子氏による演奏付き解説講座(過去の講座の様子)

当財団は、主催公演の魅力や音楽をもっと身近に感じる鑑賞の楽しみ方を伝える「レクチャー・シリーズ」を7月8日からスタートする。年6回を予定しており、作曲家の人生や作品の背景などの解説や演奏を通じて「観る楽しみを広げる」取り組みだ。

1回目は、「新日本フィルハーモニー管弦楽団米子公演」に関連して、昨年生誕250年を迎えた楽聖・ベートーヴェンの波乱な生涯と創作の背景を、音楽ライター・中村雅子氏が解説。とっとりチェンバーオーケストラ弦楽四重奏による演奏を交えながら、多くの人に愛される楽曲の魅力に迫る。

鳥取県在住の作曲家・新倉健氏、米子市出身バレエ指揮者・井田勝大氏、ピアニスト・大井駿氏を迎えた回も予定。奥深い世界に触れることで、より豊かな時間が過ごせそうだ。

次世代育成事業トライアート レクチャー・シリーズ



ピアニスト 大井駿
“目で楽しむ”ピアノコンサート



指揮者 井田勝大
バレエ音楽「 Coppélia 」の魅力



作曲家 新倉健
チャイコフスキー名曲の秘密

豪華プログラムで“うっ通りの夏”を



©NHK Symphony Orchestra, Tokyo

NHK鳥取放送局開局85年記念 NHK交響楽団演奏会 鳥取公演

日本のみならず国際的にも高く評価され、来鳥するたびに感動の拍手が鳴り止まないNHK交響楽団(以下、N響)が、2年ぶりにとりぎん文化会館の梨花ホールにやってくる!

指揮者には、NHK大河ドラマ『麒麟がくる』(2020年)のテーマ音楽など、これまで何度もN響と共演している広上淳一氏が登場。ソリストには世界各地で活躍し、多数のオーケストラと共演実績がある新進気鋭のピアニスト藤田真央氏を迎える。

演奏曲は、チャイコフスキーの名曲を2曲。ピアノ協奏曲の中でも人気が高い『ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 作品23』と、3大交響曲のひとつとして有名な『交響曲第4番 へ短調 作品36』という豪華プログラムだ。

この夏はN響サウンドでうっ通りするような時間を過ごしたい。



藤田真央/©Eiichi Ikeda



広上淳一/©Masaaki Tomitori

Information

開催日 | 2021年8月28日(土)
 会場 | とりぎん文化会館 梨花ホール
 時間 | 開場 15:15 開演 16:00
 料金 | 全席指定(税込)
 S席 6,000円 A席 5,000円
 B席 4,000円 C席 3,000円
 主催 | (公財)鳥取県文化振興財団
 NHK鳥取放送局、NHK交響楽団
 お問い合わせ | とりぎん文化会館
 TEL.0857-21-8700

開催地担当者

“本物”がくれた文化振興の兆し

境港市では鳥取県文化振興財団と共催して2021年1月に、東京二期会の公演を開催しました。当市ではこれまで、目新しい文化振興事業をなかなかできずにいたのですが、この公演のご提案をいただいたとき「当市の文化振興に良い影響を与えてくれるのではないか」と思い、手を挙げました。

公演は2部構成で、第1部が合唱曲コンサート、第2部が日本初演オペラ「雪の女王」。加えて公演前日には、小学校4～6年生を対象としたワークショップを行いました。合唱曲2曲を練習し、翌日のコンサートでプロの音楽家と一緒に歌うというもの。コロナ禍の影響もある中、参加してくれた子どもたちは、講師の分かりやすい指導もあってみるみる上達。充実した時間を過ごせたようです。公演を鑑賞したお客様からは「プロの迫力はすごい」「本物に勝るものはない」という声をいただき、大きな意義を感じました。

この取り組みは、当市の文化振興事業を見直すきっかけとなりました。2022年には、当市に新しいホールが完成する予定です。より多くの市民が文化芸術に触れ、市を盛り上げるきっかけとなる事業をこれからさらに企画していきたいです。

かど わき ゆい
門脇 優衣 さん 境港市教育委員会生涯学習課(取材当時)



触れる

芸術を子どもたちのもとへ届けます。



令和2年度文化庁委託事業「戦略的芸術文化創造推進事業」(指揮:根本卓也、合唱:二期会合唱団)

とっとり地域創造ステージ

「とっとり地域創造ステージ」は、本格的な舞台芸術を鑑賞する機会が少ない市町村で質の高い舞台公演を開催し、若年層をはじめ多くの地域住民に舞台芸術への関心を高めてもらうことを目的に行っています。

第一線で活躍する団体・アーティストを招へいし「本物を届ける」ことで、未来を担う子どもたちの心に「もつと見たい」「自分もやってみたい」との思いが芽生えるきっかけになればと考えています。また、開催市町村の担当者と「協働すること

も大切に行っています。一緒に取り組むことで地域の現状がよく分かる上、お互いが持つネットワークやノウハウを生かすことでより充実した事業を展開することができるようになります。

2020年度は、境港市の熱意とご協力により2公演を実施しました。10月に開催した「青少年のためのヴァイオリンコンサート」では、日本を代表するヴァイオリニスト・大谷康子氏が名器ストラディヴァリウス(公財)日本音楽財団保有)で見事な演奏を披露。

来場した市内の小学生たちは、クイズを交えた楽しい進捗と美しい音色に引き込まれていました。1月には(公財)東京二期会の日本初演オペラを上演。「地元にながら磨き抜かれた芸術を鑑賞できた」「子どもに初めて生のオペラを見せられた」との感想に大きな手応えを感じました。

今年度も県内2カ所での開催を予定。子どもたちの心に文化芸術の種をまき、いつの日か花開くことを願いながら取り組んでいきます。

触れる・育てる・創る・伝える

ARTS FOR EVERYONE



人と人とのつながりを大切にして展開している、若者たちに向けた財団の取り組みを紹介します。

文化芸術の種をまき、関心呼び起こす



情感豊かで歌うような音色が地元小学生たちを魅了した「青少年のためのヴァイオリンコンサート」。(2020年10月/境港シンフォニーガーデン/主催:(公財)日本音楽財団)



「声を聞こうーアンサンブルの楽しみと、家族と子どものための新しいオペラ『雪の女王』公演の前日に開催されたワークショップ」。(2021年1月/境港シンフォニーガーデン/主催:文化庁、(公財)東京二期会)

ワークショップ参加者

歌の楽しさを知った貴重な経験でした

チラシを見た母に勧められて参加しました。公演前日のワークショップでは、本番で歌う「パプリカ」「希望の歌」を中心に練習。講師の方が見本を見せてくださったのですが、きれいな歌声と声量にビックリ!プロの歌声を目の前で聴き、「こんな経験なかなかできない」と感動しました。「波打つように」「明るく元気に」などフレーズごとに歌い方のコツを教えてください、どんどん楽しくなってきました。ベートーヴェンの「交響曲第9番」がモチーフになっている「希望の歌」は、有名なサビの部分日本語で歌うだけのはずだったんですが、急きょドイツ語の歌詞にも挑戦することに。一生懸命歌詞を覚え、帰宅後も練習しました。

本番当日は、「間違えてもいいから全力で歌おう」という気持ちでステージへ。すごく緊張したけど、東京二期会の皆さんの歌声に後押しされて、大きな声で歌うことができました。

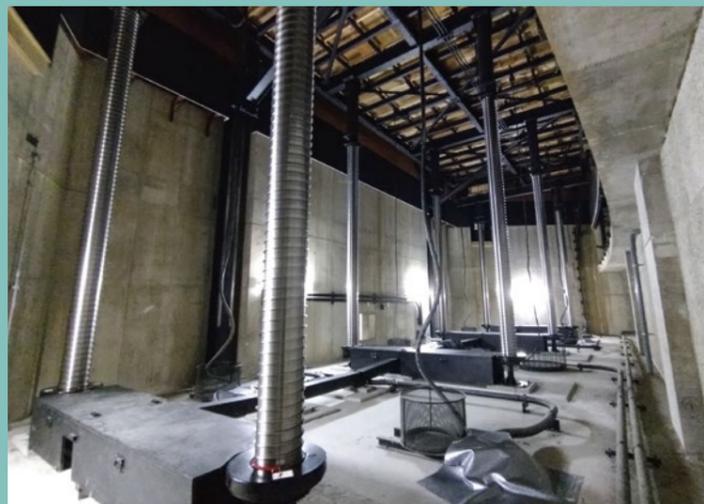
今回の経験で改めて「歌の楽しさ」を実感しました。また地元でオペラやミュージカルの公演があれば、ぜひ見に行きたいです!

えん どう ゆう か
遠藤 結花 さん 米子市立河崎小学校 6年(取材当時)



かげの立役者たち ～劇場裏のウラ～

財団技術管理部のスタッフが劇場の裏側をご紹介！
舞台や施設を見えないところで支えている、特殊な
構造や設備機器などをお見せします！



オーケストラピットを支える8本の柱

床下で舞台を支える縁の下の力持ち



客席を収納するとオーケストラピットが現れる



オーケストラピットを上昇することで舞台は広がる

舞台スタッフは全員が黒色の服に身を包んでいます。舞台上で黒色は「見えていないことにする」という暗黙のルールがあり、舞台スタッフは出来るだけ存在感を消し、縁の下の力持ちに徹するためです。

今回ご紹介するのは、スタッフ同様に陰で働く「8本の柱」。まず、「オーケストラピット」という言葉を知っていますか？ オペラやバレエ公演の際、舞台より低い位置でオーケストラが生演奏をする場所のことです。

倉吉未来中心の大ホールでは1列目から5列目の客席を床下に収納し、平らな床面にオーケストラを配置。その際、床面を上下させる力持ちが8本の柱なのです。これを「スパイラルジャッキ」といい、10トン近い客席部分を上下させることができます。静止時には約47トンもの重さに耐えられ、オーケストラピット部分の客席130席全てに大人が座っても、まだまだ余裕があります。しかし、このような力持ちも完璧ではありません。動くようにできている部分ですので、1列目から5列目の座席に座っていると、他の方が動かされた際に、振動を感じます。揺れが気になる方は、気に留めておかれると良いかもしれません。

そして、オーケストラピットは客席より下に降りるだけではありません。スパイラルジャッキがぐんぐん伸びて、床面を舞台と同じ高さまで押し上げることもできます。舞台の延長として広いスペースが必要な場合に使用します。

劇場に来られた際には、スタッフと共に働くこの“縁の下の力持ち”たちのことを頭に浮かべてみてください。

FOCUS ON

県内の文化芸術活動団体・人を紹介します

バレエスタジオ パ・ドルチェ

想いを旋律に乗せて、指先、つま先まで美しく。内なるバネを意識して、高く華麗にジャンプする。
大山が見える伯耆町のバレエスタジオでは、基本を大切に、のびのび楽しく、時に厳しく、
バレエの奥深い魅力を伝えている。



バレエスタジオパ・ドルチェ発表会
(2021.4.4 / 米子市文化ホールメインホール)

お話を伺った人



講師

河野 由佳さん

優雅なバレエ音楽が流れる中、基本動作から丁寧にレッスン。経験豊富な講師の指導を受けながら、小さなバレリーナたちがバレエを通じて柔軟性やリズム感覚を身に付け、感性を豊かに育んでいる。

正しく美しく、体を使って豊かに表現

バレエの先生からの誘いや、家族からの後押しがあって、バレエを始めました。レッスンを通じて、踊る楽しさだけでなく、礼儀も身につきました。東京バレエ団「ドン・キホーテの夢」への出演は、緊張したけど、貴重な経験になりました。家では憧れのバレリーナの動画を見て研究したり、イメージトレーニングをしたりしています。バレエを続けて、さらに上手に踊れるようになりたいです。

ヴァス 菘さん

伯耆町立岸本中学校 1年
入所歴 6年目

レッスンでは、子どもの成長や目的に合わせたさまざまなカリキュラムを幅広く取り入れています。3歳から大人まで、一人ひとりの体に合わせた豊かな表現ができるよう、経験豊富な指導者が、基礎から丁寧に指導しています。大切にしているのは「楽しさ」「正しい体の使い方」「表現する心」です。バレエを通して正しい体の使い方を保つこと、きれいな姿勢が保たれたり、美しい所作が身に付いたり、普段の生活にも役に立ちます。そして、音楽に合わせて楽しく自分を表現できるようにになると、何事にも

明るく前向きに取り組めるようになります。通常は教室主催の発表会をしたり、地域の行事やコンクール、ワークショップに参加したりしています。一昨年は、米子市で開かれた東京バレエ団「ドン・キホーテの夢」に、パ・ドルチェからも2人がキューピッド役で出演しました。現在(3月)は4月の発表会に向けて、皆が練習に励んでいます。バレエは舞台と共有する芸術。たくさんの方の経験を経て健康に美しく成長しながら、奥深いバレエの魅力に触れてもらえたらと願っています。



4月に
リニューアル
しました

INFORMATION インフォメーション

(公財)鳥取県文化振興財団 友の会会員募集中!

財団の活動を支えてくださる会員を募集します。

友の会のリニューアルには、入会を機に事業を通して、鳥取県の文化芸術の発展、次世代の育成等にご支援いただくことで、財団と共に歩むパートナーになっていただきたいという思いを込めています。

<p>ロイヤル会員</p> <p>ひとつ先のステージへ</p> <p>年会費 12,000円</p> <p>有効期限 1年</p> <p>特典内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チケット最速先行販売(予約) ○財団主催公演への特別ご招待 ○チケット購入後のキャンセルサービス ○アーティストとの交流企画 ○レストラン等協力店でのご優待 ○催し物案内の送付(毎月) 	<p>クローバー会員</p> <p>アートを気軽に、より身近に</p> <p>年会費 1,500円(1,000円)</p> <p>有効期限 1年</p> <p>特典内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チケット先行販売(予約) ○レストラン等協力店でのご優待 ○催し物案内の送付(毎月) <p>*催し物案内のご自宅への送付が不要な方は、年会費1,000円でご入会いただけます。</p>	<p>ジュニア会員</p> <p>心動かす感動との出会い</p> <p>年会費 無料</p> <p>有効期限 小学校卒業月末日まで</p> <p>特典内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ダイレクトメールの送付(年4回) ○スタンプラリー <p>コンサートやワークショップに参加してスタンプを集めよう! スタンプがたまったら、公演のチケットをプレゼント!</p> <p>対象: 県内小学生</p>
---	--	---

各会員特典はいずれも財団が指定する公演・事業が対象となります

お問い合わせ 友の会事務局(とりぎん文化会館内) ☎ 0857-21-8700



**チケット販売窓口で
クレジットカード決済を
開始します!**

とりぎん文化会館、倉吉未来中心、アルテプラザのチケット販売窓口で、2021年7月上旬頃よりクレジットカード決済の取扱いを開始予定としています。公演チケット代金および友の会年会費の支払いの際、ぜひご利用ください。(※施設利用料は対象外)

クレジット決済対応可能なお支払いの種類

鳥取県文化振興財団主催および特別共催公演チケット代金、友の会ロイヤル会員およびクローバー会員年会費
※当財団が受託して販売を行っているチケットは対象外です

利用可能なクレジットカード決済の種類

JCB VISA AMERICAN EXPRESS Diners Club International

○注意事項 クレジットカード決済が可能なのは、チケット販売窓口のみです。施設利用料は現金のみのお取扱いとなります。クレジットカード決済と現金の併用はできません。

編集後記

今年度より、「レクチャー・シリーズ」がはじまります。事前に知識に触れていただくことで、より財団主催公演をお楽しみいただけます。ぜひ一度、「レクチャー・シリーズ」と公演をセットでお楽しみください♪(S)

インタビューや外部筆者のコラムなどを中心に構成する紙面の取材・編集。社会部の記者がコロナ報道に奔走する中、文化芸術を伝える仕事をする自分には何ができるのだろう。そもそも、社会に求められる文化芸術の役目って? そんな問いに直面した。

文化芸術の役割とは。学芸記者になって4年目の昨年春、新型コロナウイルスの影響で、いや応なく考えさせられた。得体の知れないウイルスは猛威を振るい、文化芸術活動は真っ先に自粛の対象になった。取材もそう。学芸関連の取材は「不要不急」にカテゴライズされた。



“不要不急”の文化芸術の役割とは

PROFILE
高坂 綾奈さん
記者
八頭町出身。新日本海新聞社編集制作局報道部記者。2015年4月に入社し、新聞広告の営業担当などを経て、17年1月から学芸担当記者として主に文化面の取材、編集を行う。18年からは鳥取県内で文化芸術活動をする人たちの創作現場や取り組みを紹介する「とっとり創造人」の連載も担当している。

所を訪ねた。そこには、カラフルなアート作品がずらりと並んでいた。改めて思った。芸術はボードレスだと。そして、社会を豊かにしているのだとも。

文化芸術活動は心を豊かにする栄養剤でもあったのだ。地方紙の醍醐味は地域に根差した報道。学芸デスクと話し合い、対面取材を極力控えた特集記事をつくることにした。県内の書店店主にお薦めの本を紹介してもらった連載や、「日本海歌壇(※)」に見るコロナ短歌の検証、若手表見者に創作現場の「今」を執筆してもらったコラムなども掲載した。「不要不急」の文化芸術の役割とは何だったのだろうか。コロナ禍も2年目に突入した今年、障がい者アートを支援する事業

メンバーに聞きました!

始めたきっかけを教えてください

福栄校区の伝統芸能であり、小学校に入学したら全員が伝統芸能の「かしらうち」に入るからです。

印象に残った出来事は?

地域のイベントに参加でき、色々な場所に行くことができたので嬉しかったです。

活動している古典・郷土芸能のどんなところが魅力?

ずっと長く続けていくことは大変なことで、それを続けているところがすごいと思います。

この活動をして、学んだこと、身に付いたことは?

私たちの地域にこのような伝統芸能があることが分かったし、友達と一緒に参加できたことが良かったです。



古くは江戸時代から福栄地域(日南町)に伝わる「かしらうち」を末永く後世に伝承し保存するために、1996年に設立しました。かしらうちは、その年の五穀豊穡を感謝し、氏神様にその喜びを奉納するために行われてきました。現在では小学生が小太鼓をたたいており、毎月練習に励んでいます。秋祭りには福栄地域内を回って披露し、最後に神社で氏神様に奉納しています。また、各種イベントにも依頼があれば出演しています。

【代表者】 芦尾 勝美さん
【設立】 1996年4月1日 【メンバー数】 43人
【話を聞いたメンバー】
小竹 奈さん(9才) / 活動歴3年



青少年
古典・郷土芸能
グループ紹介
vol.5

【福栄伝統芸能保存会】
氏神様に五穀豊穡の
喜びを奉納

イベント 主催 プロデュース公演《演劇》
U-18シアタープロジェクト Act2
リーディング公演

約1年をかけて創作された若者たちの「今」が詰まった戯曲3作品が完成!

日時 | 7月11日(日) 開演 14:00
会場 | 米子市文化ホール イベントホール
料金 | 入場無料(※要入場整理券)

＜監修・演出＞宮田慶子
＜戯曲監修＞大和屋かほる
＜出演＞県内高等学校演劇部員 ほか

公演情報 

お問合せ | とりぎん文化会館 TEL.0857-21-8700

イベント 主催 新日本フィルハーモニー
交響楽団 米子公演

託児あり
べ切:7/2

ベートーヴェンの名曲を楽しむ夜

日時 | 7月16日(金) 開演 19:00
会場 | 米子市公会堂 大ホール
チケット | 全席指定(税込)※未就学児入場不可
S席:一般 7,000円 U18 2,000円
A席:一般 5,000円 U18 1,500円
＜指揮者＞大友直人 ＜ピアノ＞清水和音
＜曲目＞ベートーヴェン 交響曲 第7番 ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」

指揮 大友直人/©Rowland Kirishima
ピアノ 清水和音/©K.Miura

公演情報 

お問合せ | アルテプラザ TEL.0859-38-5127

イベント 主催 倉吉未来中心 開館20周年・小ホールリニューアル記念
みらい楽演祭 「サマーバロックコンサート」

世界的オルガン奏者・富田一樹率いる
バロックアンサンブルが再び倉吉へ!

日時 | 8月15日(日) 開演 13:30
会場 | 倉吉未来中心 小ホール
チケット | 全席自由(税込)
一般 2,000円 一般ペア券 3,400円
U22 1,000円 U15 500円
※ペア券は、一般チケット2枚同時購入が対象。
富田一樹(オルガン)、譜久鳥彰(リコーダー)
門倉佑希子(バロックヴァイオリン)
中嶋寄恵(バロックチェロ/とっとりチェンバーオーケストラメンバー)

公演情報 

お問合せ | 倉吉未来中心 TEL.0858-23-5391

イベント 主催 劇団四季
The Bridge ～歌の架け橋～

語り継ぐ、歌い継ぐ、踊り明かす。
ここに劇団四季のすべてがある。
劇団四季作品の「舞台への祈り」を名曲に
のせて贈る、華やかな新作ショウ。

日時 | 8月29日(日) 開演 18:30
会場 | とりぎん文化会館 梨花ホール
チケット | 全席指定(税込)※未就学児入場不可
S席:9,900円 A席:6,600円 B席:3,300円
一般発売 | 7月2日(金) 10:00～

撮影: 荒井健

公演情報 

お問合せ | 日本海新聞ビジネス支援課 TEL.0857-21-2885

イベント 主催 ストラディヴァリウス・コンサート2021
冴えわたるアンサンブル～ゴルトムント・クアルテット

伝説のヴァイオリニスト、パガニーニに愛された
クアルテットセットの音色を堪能する

日時 | 9月11日(土) 開演 18:00
会場 | とりぎん文化会館 梨花ホール
チケット | 全席指定(税込)※未就学児入場不可
S席:一般 5,000円 U18 3,000円
A席:一般 3,500円 U18 1,500円
共催 | 日本音楽財団 助成 | 日本財団

＜出演＞ゴルトムント・クアルテット
＜使用楽器＞ストラディヴァリウス「パガニーニ・クアルテット」

公演情報 

お問合せ | とりぎん文化会館 TEL.0857-21-8700

イベント 主催 澤和樹&蓼沼恵美子
～チェロの巨匠、アラン・ムニエ氏を迎えて～

チェロ界の重鎮を迎えて深く響くハーモニー

日時 | 11月14日(日) 開演 14:00
会場 | とりぎん文化会館 梨花ホール
チケット | 一部指定(税込)※未就学児入場不可
指定席:一般 4,500円 U18 1,000円
自由席:一般 3,000円 U18 500円
※車いす席は自由席価格
一般発売 | 7月31日(土) 10:00～
＜曲目＞ベートーヴェン ピアノ三重奏曲 No.7 変ロ長調 Op.97「大公」ほか

澤和樹
蓼沼恵美子

公演情報 

お問合せ | とりぎん文化会館 TEL.0857-21-8700

※チケットはとりぎん文化会館、倉吉未来中心、アルテプラザ、WEBチケットとっとり(鳥取県文化振興財団インターネット・チケットサービス)等でご購入いただけます。
※車椅子席・介添席・託児をご希望の方は、各イベントのお問合せ先へご連絡ください。
※アンダーチケット(U22、U18等)で入場の際は、公演当日身分証明書等の提示が必要です。
※イベント内容に変更になる場合があります。

掲載のイベントは新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・延期になる場合がございます。最新情報はお問合せ先へご連絡ください。

 最新情報は、鳥取県文化振興財団 公式Facebookページでチェック!

 鳥取県文化振興財団 FB

<p>とりぎん文化会館 (県民文化会館/財団事務局)</p> <p>〒680-0017 鳥取市尚徳町101-5 TEL.0857-21-8700 FAX.0857-21-8705</p> <p>✉ bunka@torikenmin.jp   </p> <p>【休館日】 年末年始および毎月第2・4・5月曜日 (祝日の場合は、その翌平日) http://www.torikenmin.jp/kenbun/ </p>	<p>倉吉未来中心</p> <p>〒682-0816 倉吉市駄経寺町212-5 TEL.0858-23-5391 FAX.0858-47-0255</p> <p>✉ mirai@miraichushin.jp   </p> <p>【休館日】 年末年始および毎月第1・3・5月曜日 (祝日の場合は、その翌平日) http://www.miraichushin.jp/ </p>	<p>アルテプラザ (財団西部事務所)</p> <p>〒683-0043 米子市末広町311 米子駅前ショッピングセンター 4階(イオン米子駅前店4階) TEL.0859-38-5127 FAX.0859-38-5128</p> <p>✉ seibu@torikenmin.jp   </p> <p>【休業日】 年末年始および毎週日曜日・月曜日 http://www.torikenmin.jp/artepiazza/ </p>
---	--	---